



#つみっふ

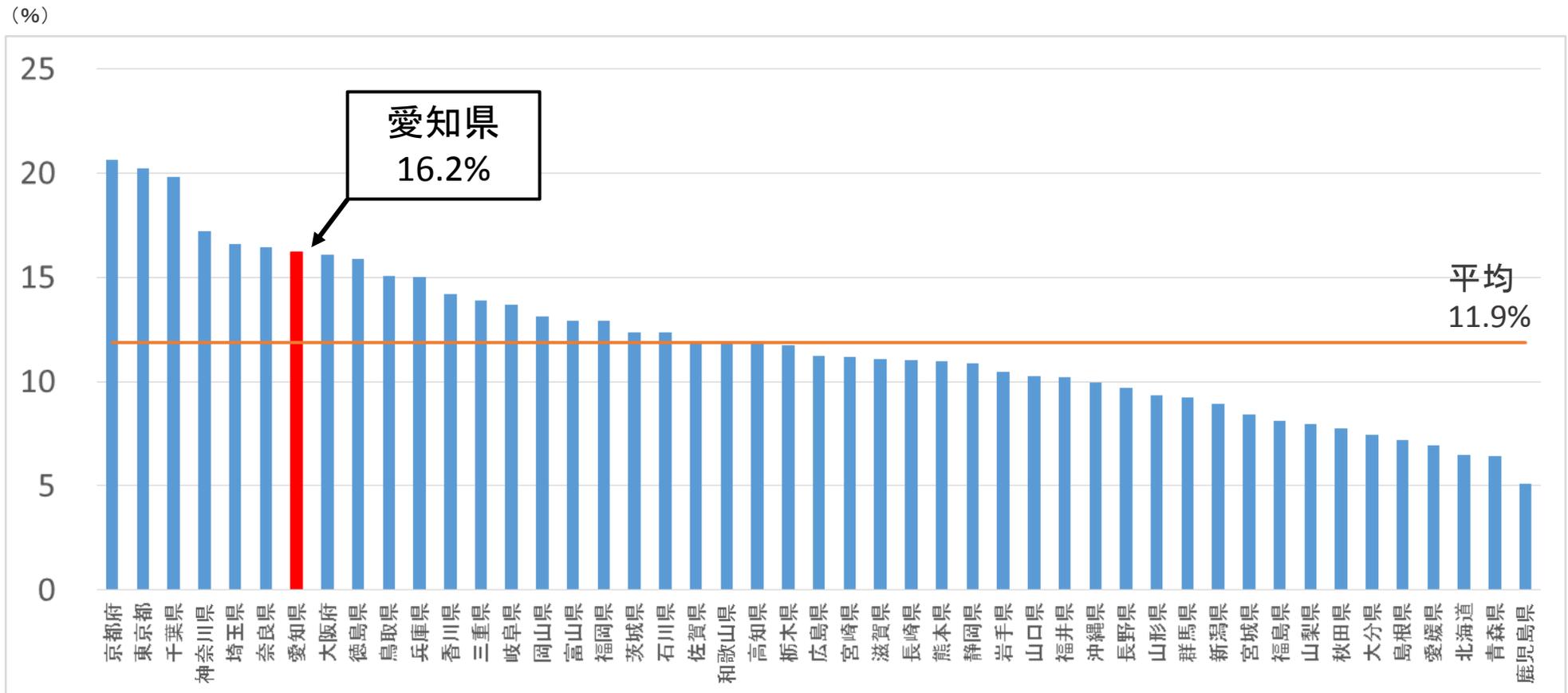
# つみたてNISA Meetup in 名古屋

平成31年2月21日

名古屋証券取引所会議室

主催:金融庁 協力:名古屋証券取引所

# これは何を示すグラフでしょうか？



(出典)総務省「平成26年全国消費実態調査」より金融庁計算

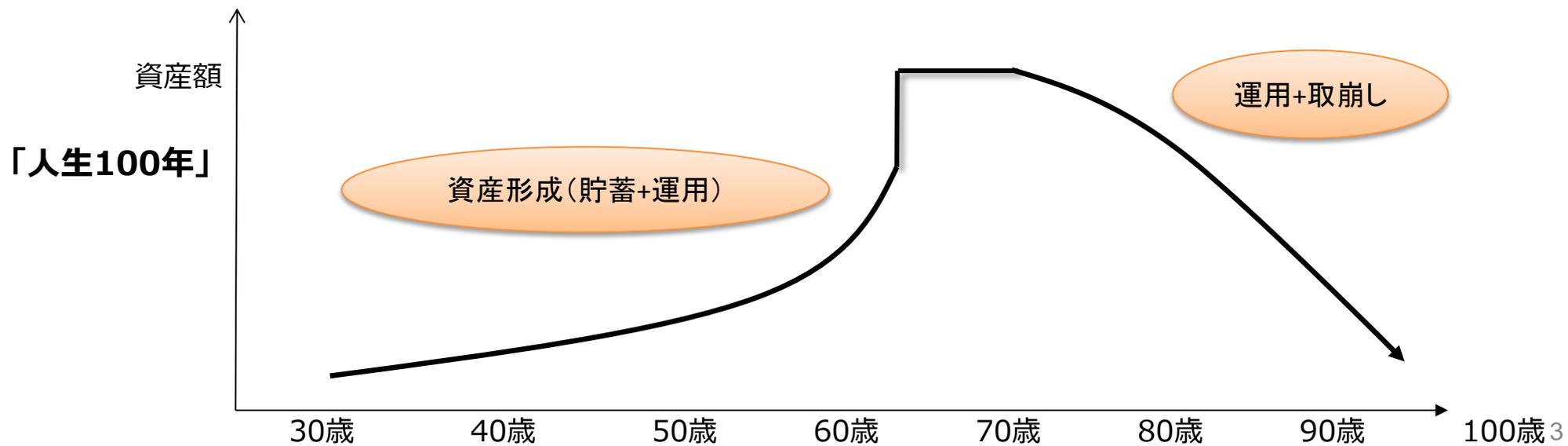
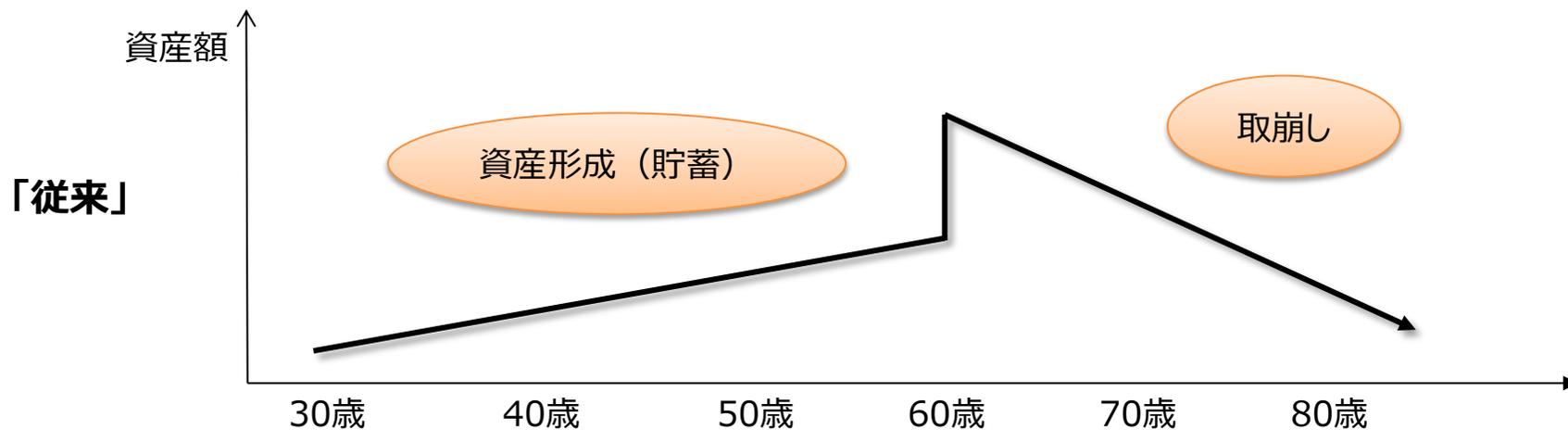
# 60歳の人のうち各年齢まで生存する人の割合

	2015年推計	1995年推計
80歳	78.1%	67.7%
85歳	64.9%	50.0%
90歳	46.4%	30.6%
95歳	<b><u>25.3%</u></b>	14.1%
100歳	8.8%	—

(注) 割合は、推計時点の60歳の人口と推計による将来人口との比較。1995年推計では、100歳のみの将来人口は公表されていない

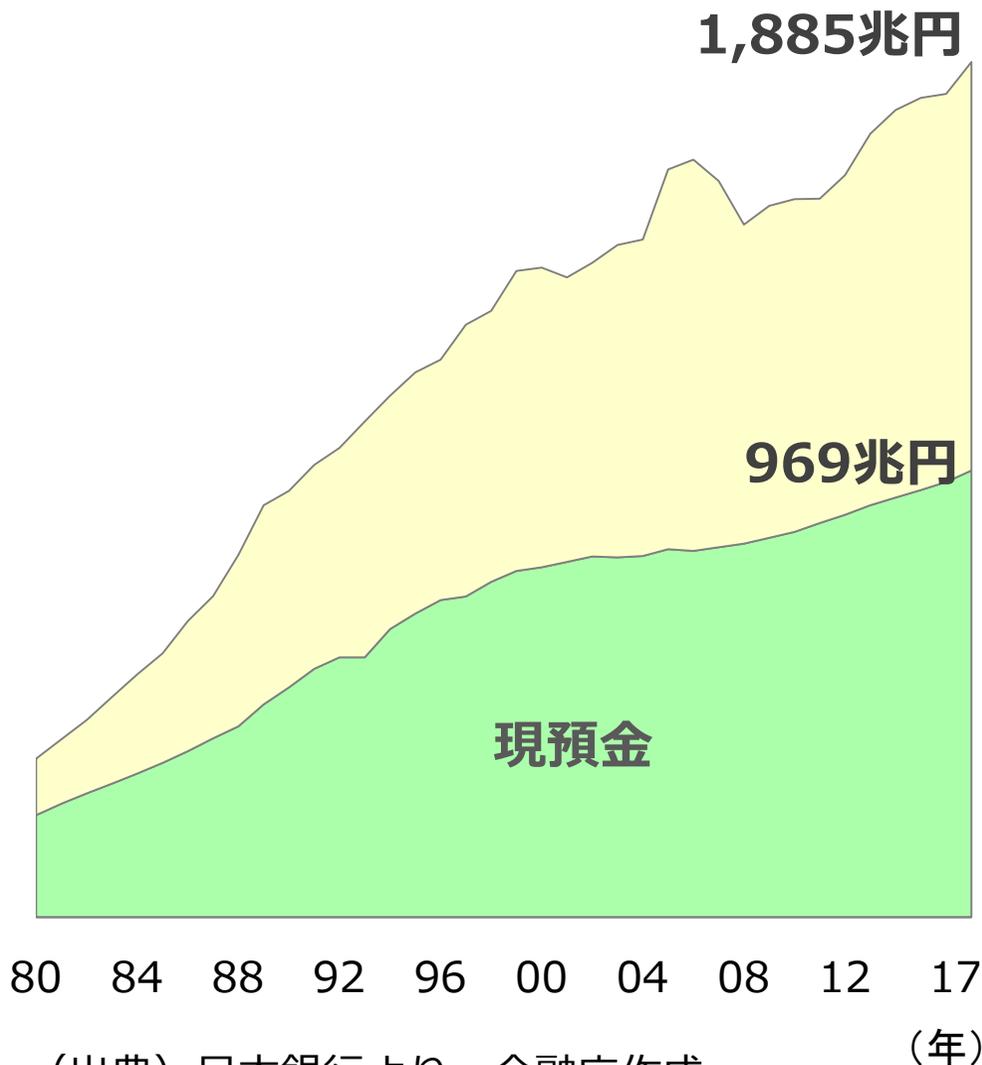
(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計」(中位推計)より、金融庁作成

# 資産形成と取崩しのイメージ



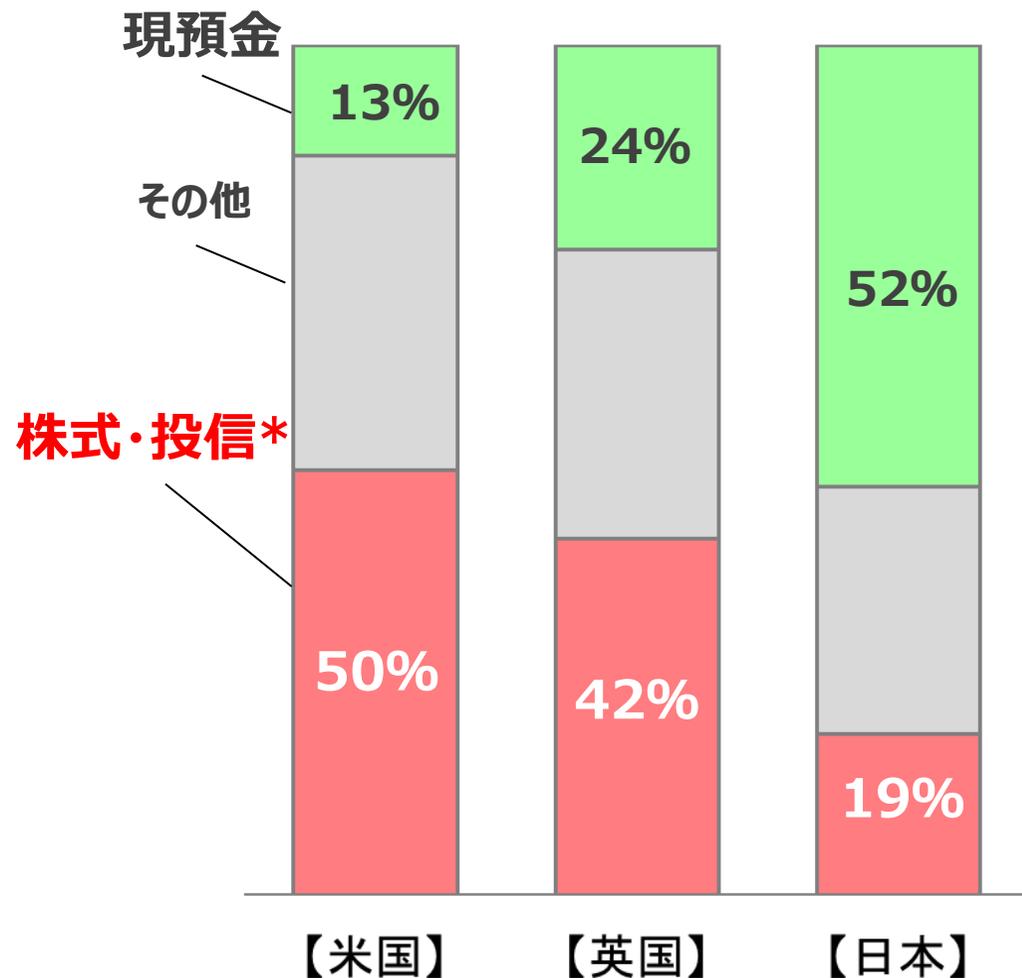
# 家計金融資産の推移・構成比

## 我が国の家計金融資産推移



(出典) 日本銀行より、金融庁作成

## 各国家計の株式・投信の割合 (2017年末)



(※) 株式・投信は間接保有を含む割合。

(出典) FRB、BOE、日本銀行より、金融庁作成

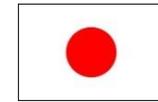
# 各国の家計金融資産の推移



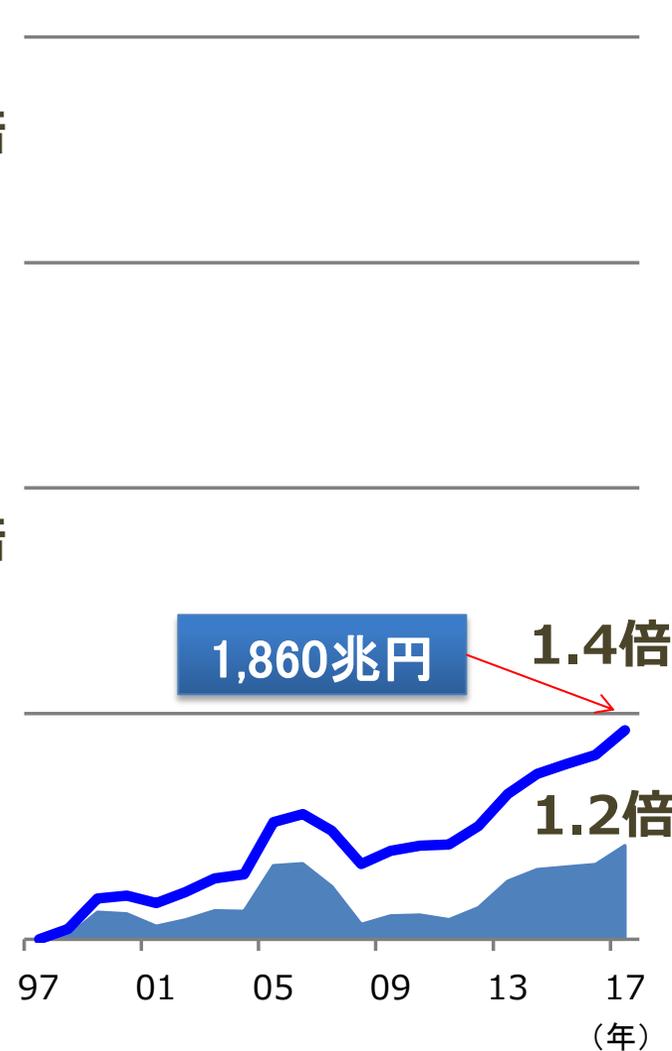
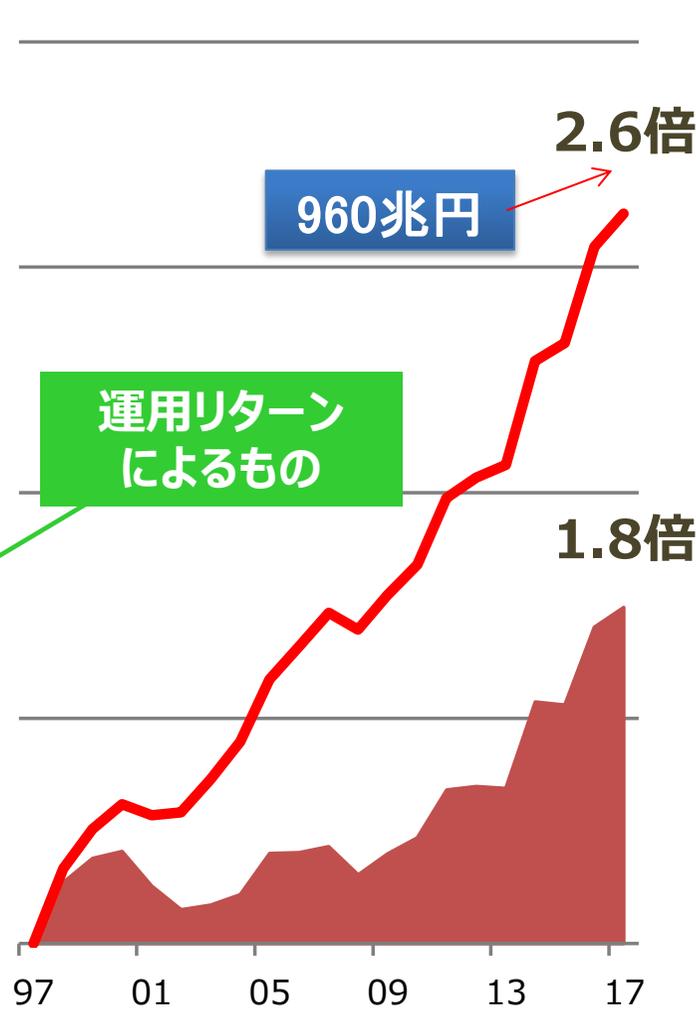
米国



英国



日本

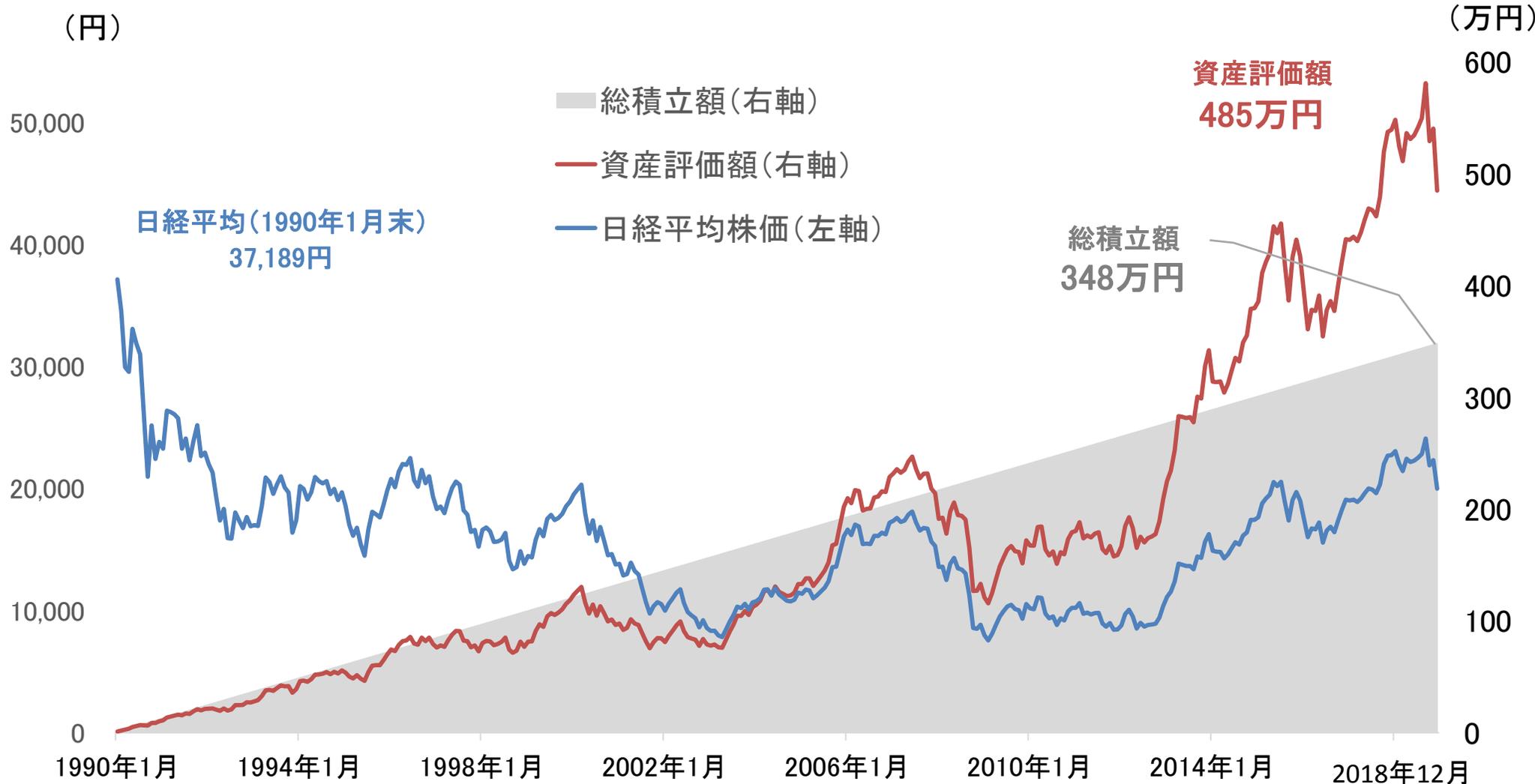


(出典) F R B、B O E、日本銀行より、金融庁作成

# 長期・積立・分散投資

日経平均最高値の翌月から日経平均に毎月積立投資をした場合のシミュレーション

(期間: 1990年1月末~2018年12月末)

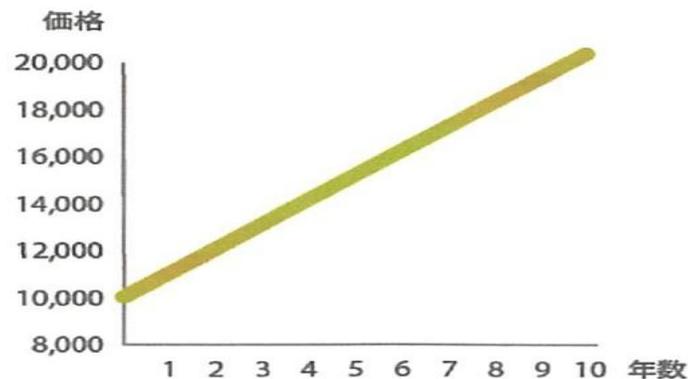


(出所) Bloombergのデータを基に金融庁作成

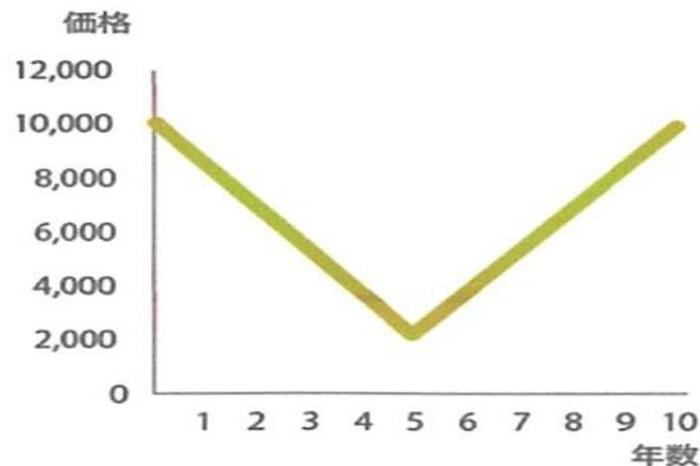
・上記は毎月末1万円を積立投資したと仮定して試算。なお、税金・手数料等は考慮していない。

# (参考) 積立投資と株価の関係 (毎月1万円 10年間積立の場合)

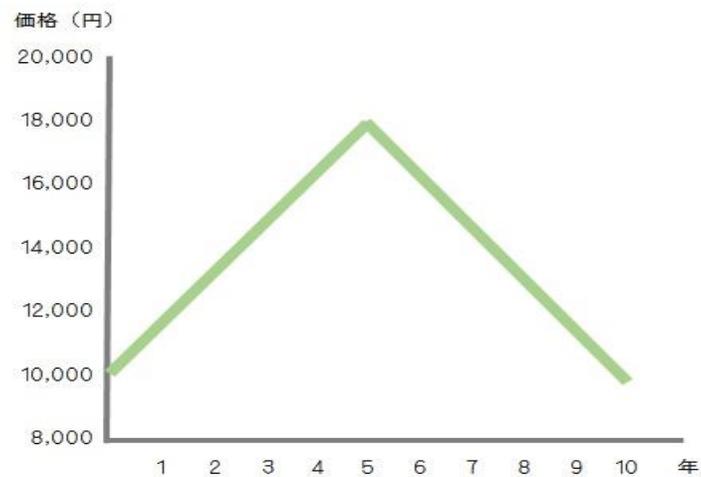
## ケース①



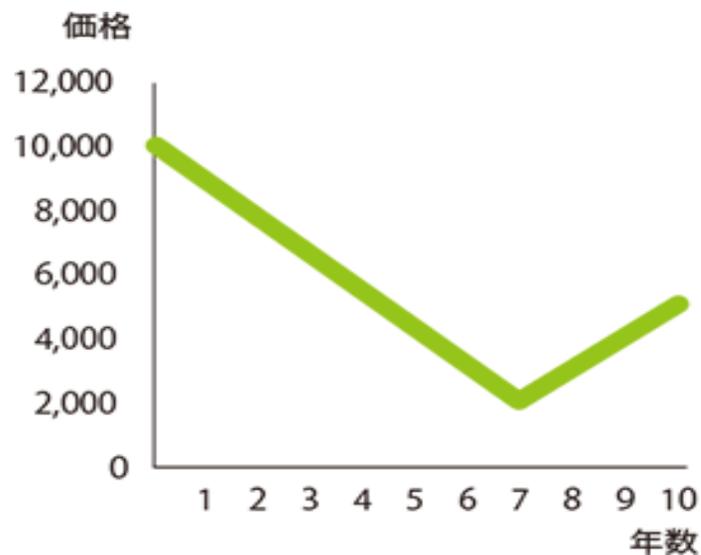
## ケース②



## ケース③

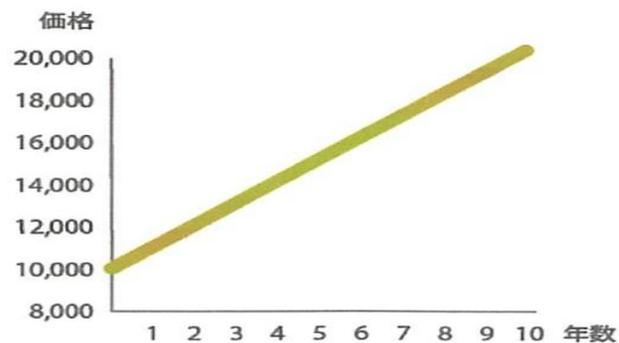


## ケース④

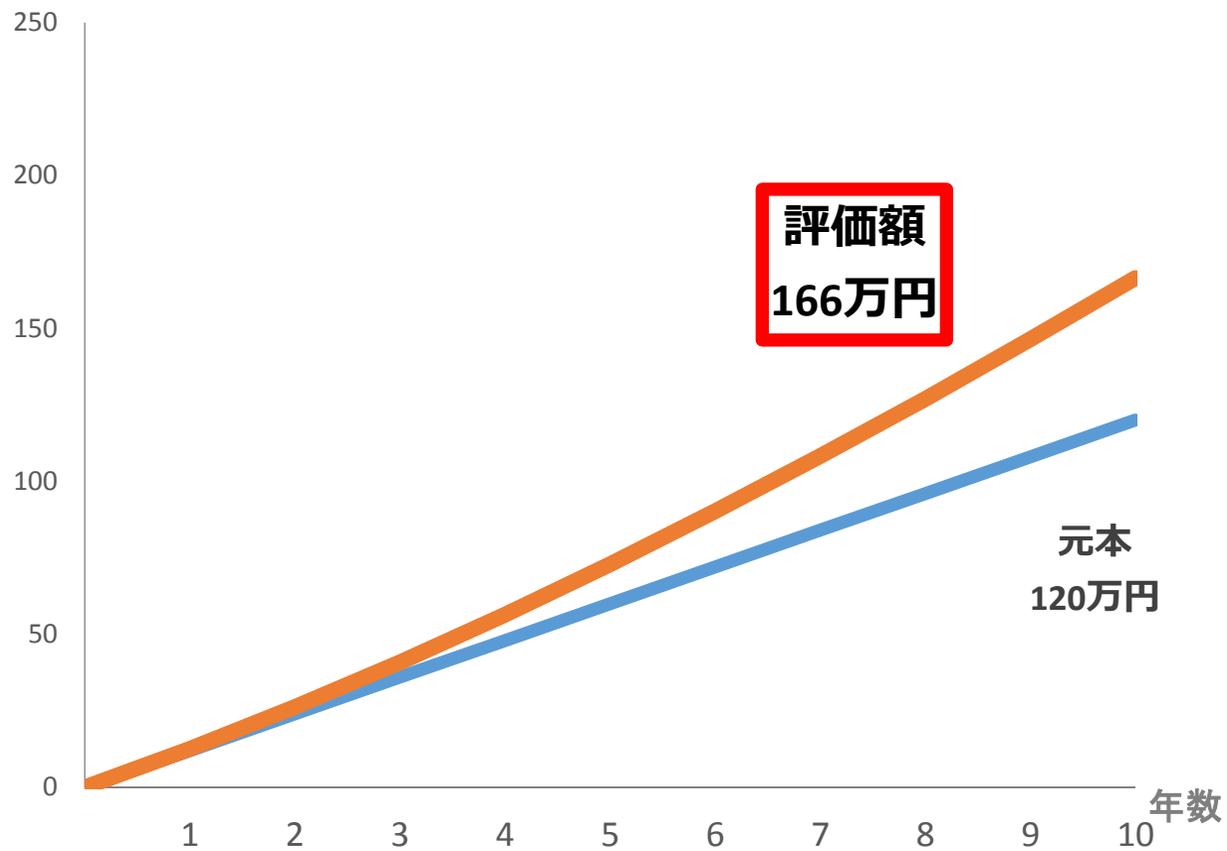


# 積立投資の成績（評価額）①

## ケース①

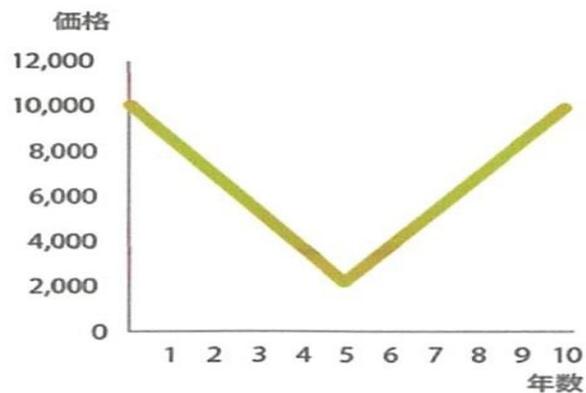


価格(万円)

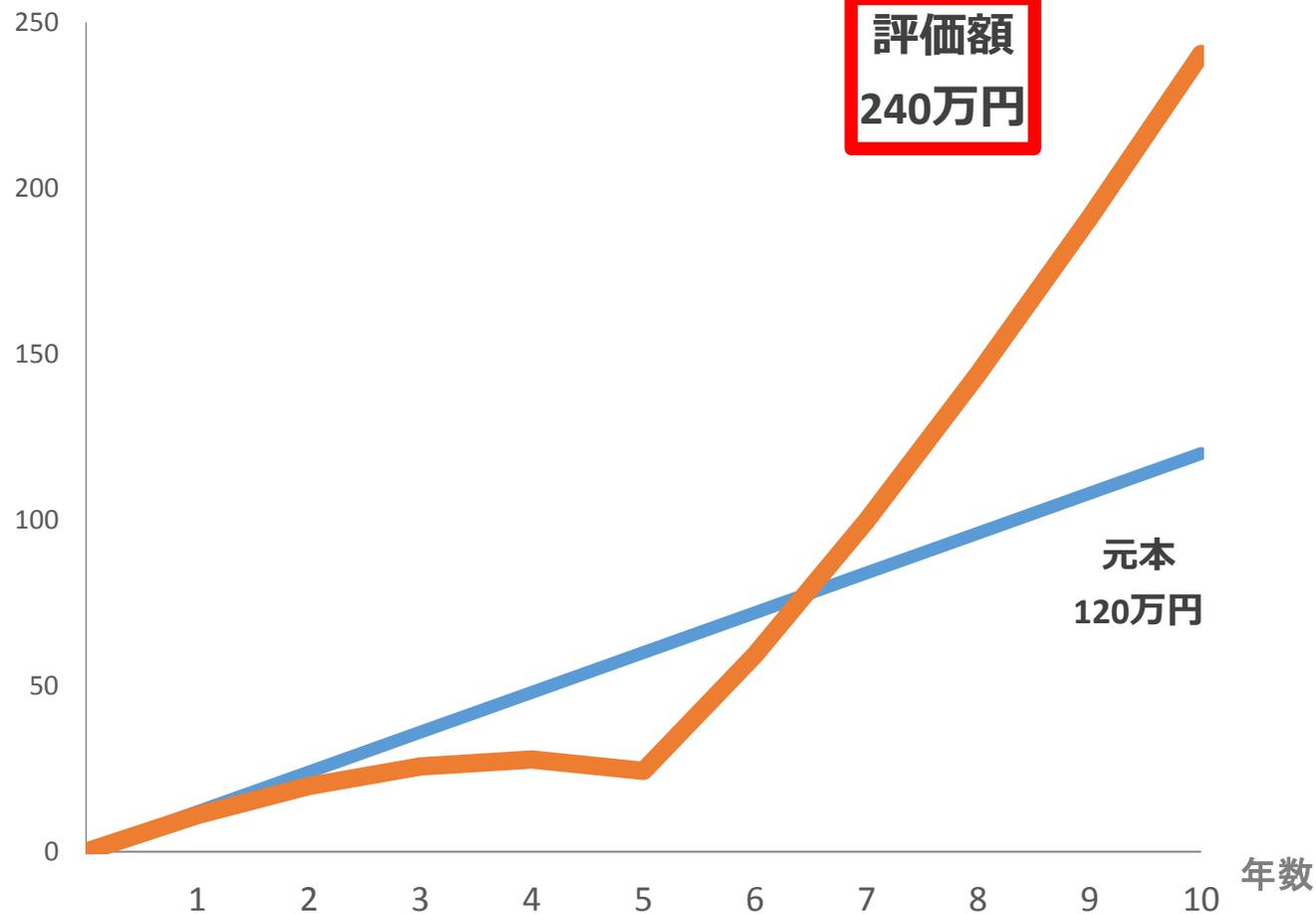


# 積立投資の成績（評価額）②

## ケース②

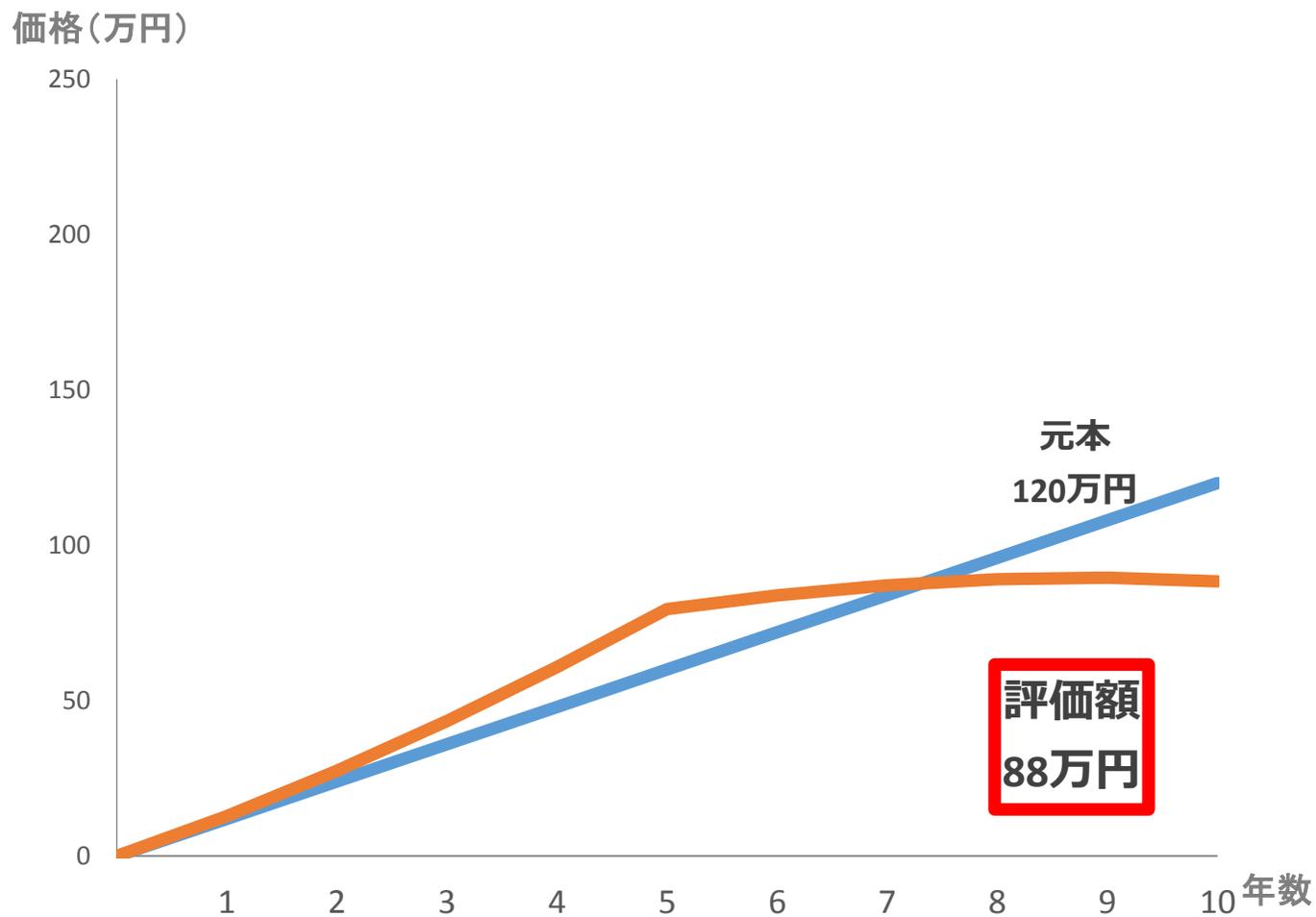
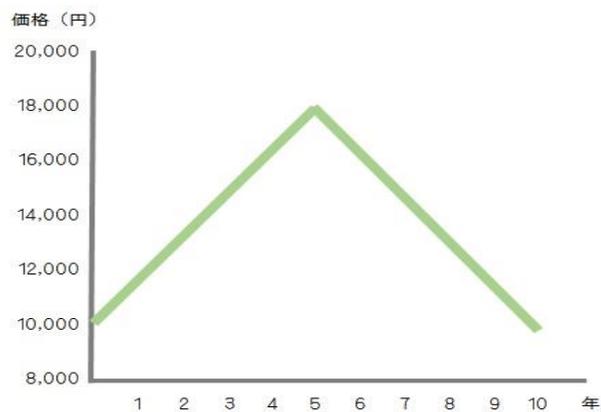


価格(万円)



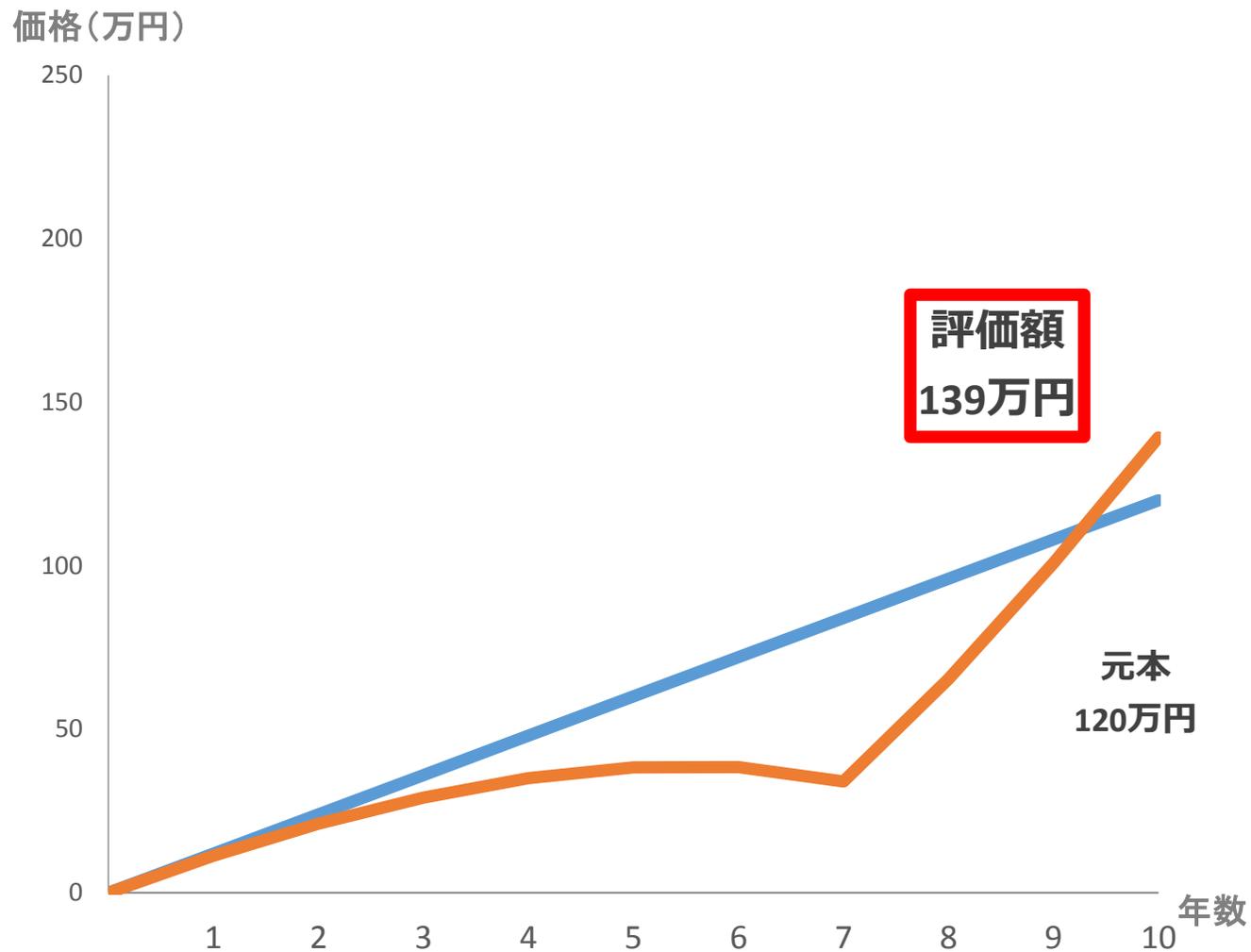
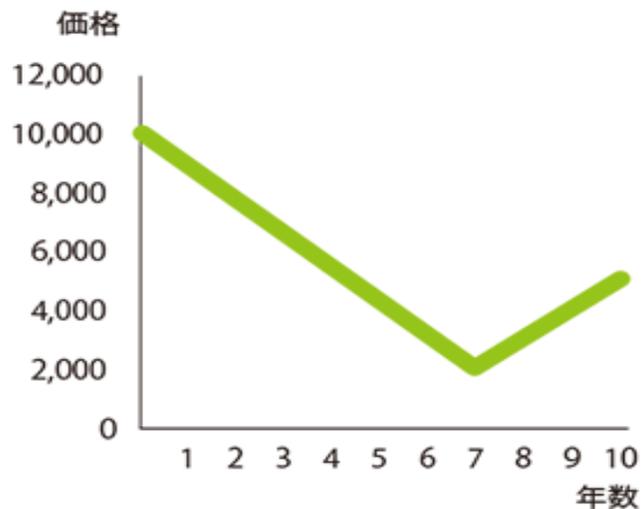
# 積立投資の成績（評価額）③

## ケース③



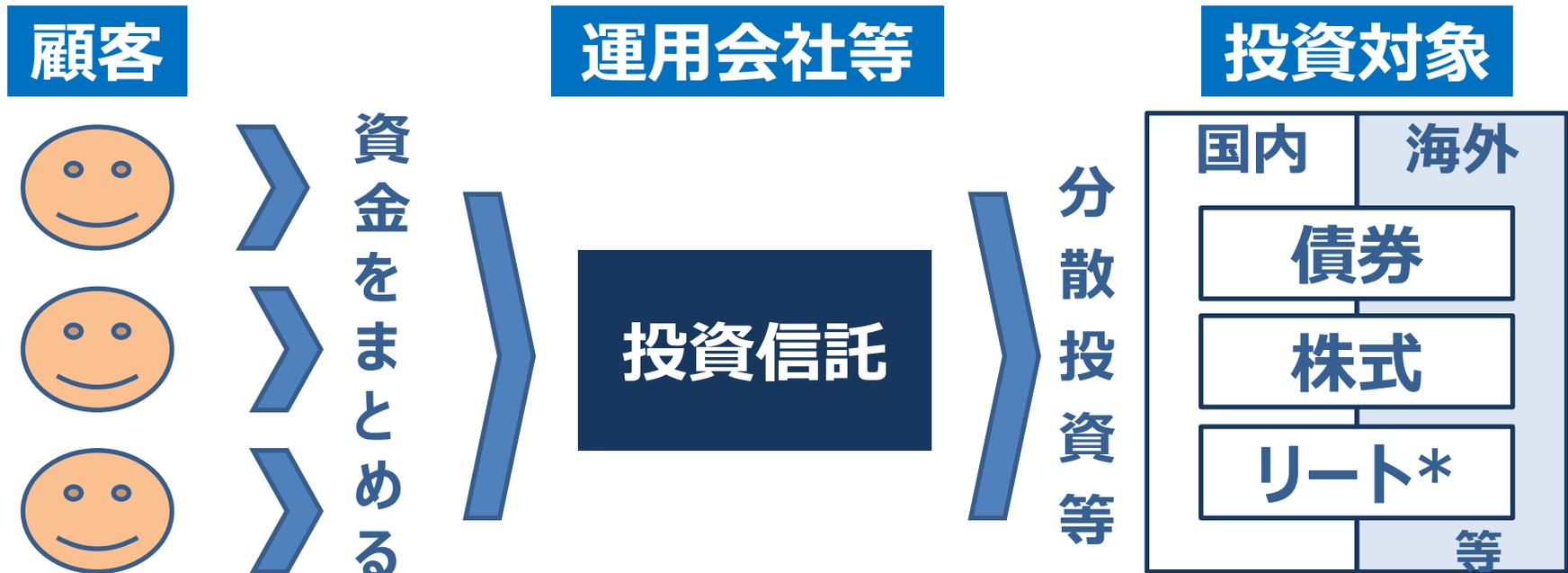
# 積立投資の成績（評価額）④

## ケース④



# 投資信託とは

- ✓ 19世紀後半の**英国**で自然発生的に誕生したと言われています
- ✓ **多くの顧客**から集めた**資金**をひとつに**まとめて**運用会社等が**投資・運用**
- ✓ **少ない投資額**から**分散投資**も可能
- ✓ 投資対象は**国内外の株式・債券等**
- ✓ 運用成果は**投資額**に応じて**顧客に還元**

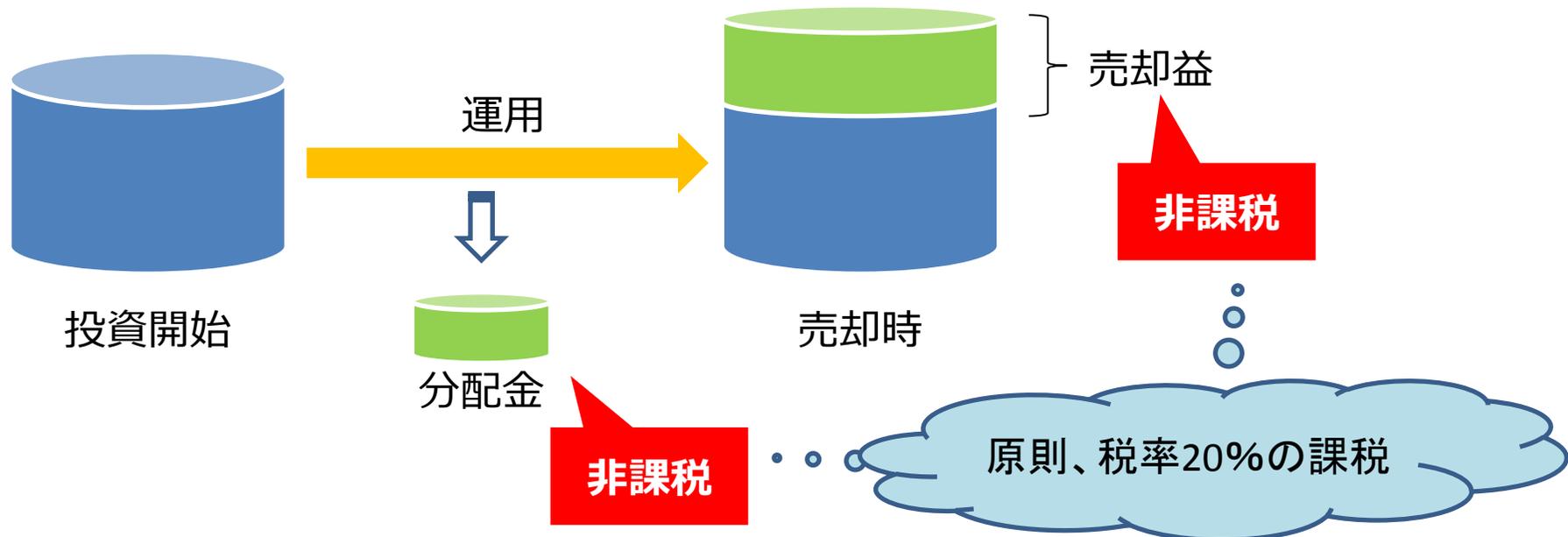


\* 不動産投資信託証券（REIT）のこと。ビル、マンション、倉庫などの不動産を投資対象とし、そこから得られる賃貸料、不動産売却益を顧客に配当する投資信託です。

# NISA（少額投資非課税制度）とは

NISA口座での投資は、運用益（売却益・分配金）が**非課税**

- ✓ 「一般NISA」と「つみたてNISA」の2種類
- ✓ 20才以上の日本居住者が対象
- ✓ 銀行・証券会社等で開設



# 一般NISAとつみたてNISA

## 一般NISA

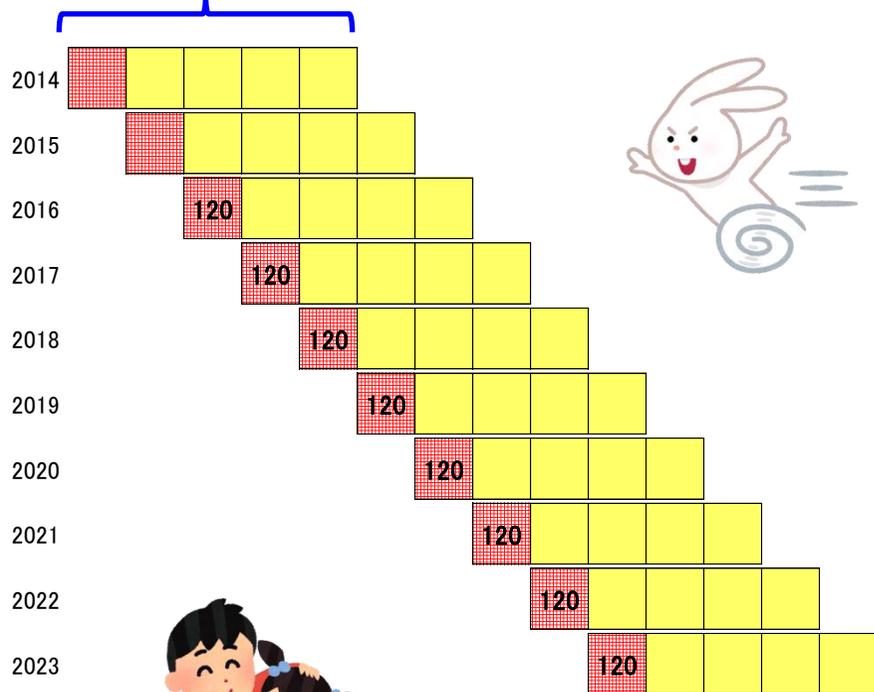
- ・非課税枠（最大）：**120万円**
- ・非課税の期間：**5年間**
- ・投資可能期間：**2023年まで**
- ・投資対象：上場株式、株式投資信託、REIT など

選 択

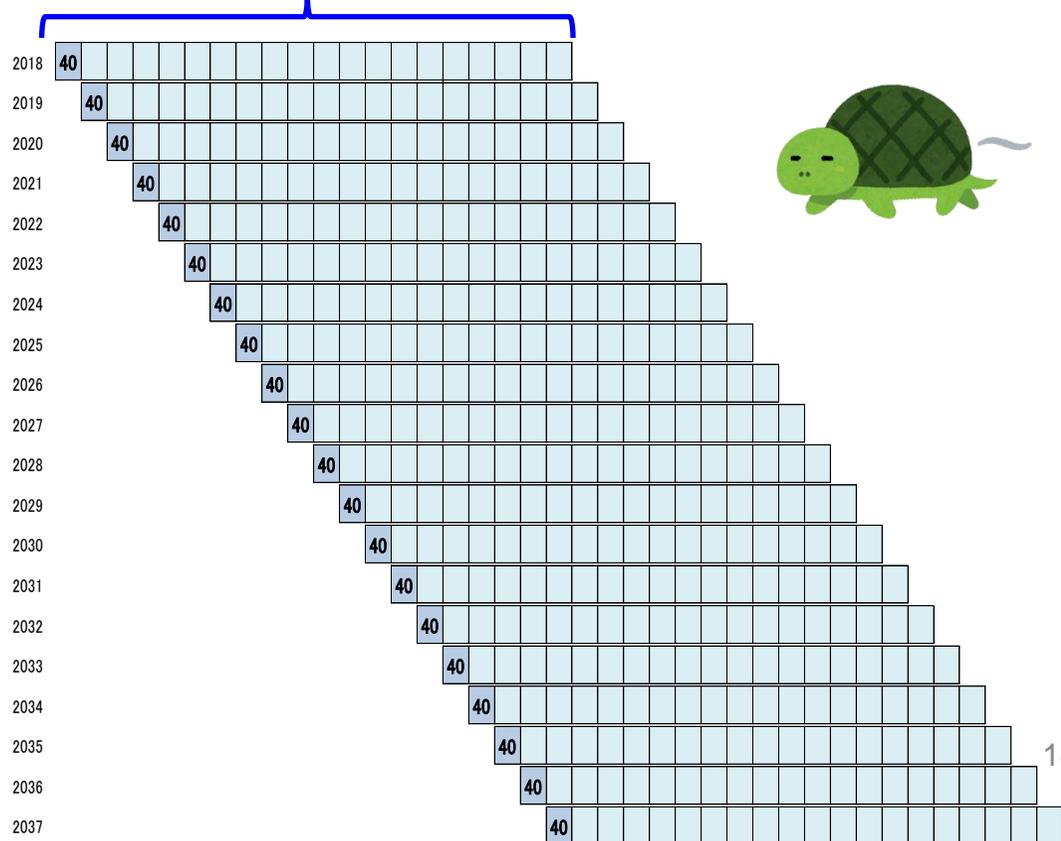
## つみたてNISA

- ・非課税枠（最大）：**40万円**
- ・非課税の期間：**20年間**
- ・投資可能期間：**2037年まで**
- ・投資対象：**株式投資信託**  
**長期の資産形成に適した商品に限定**

5年間

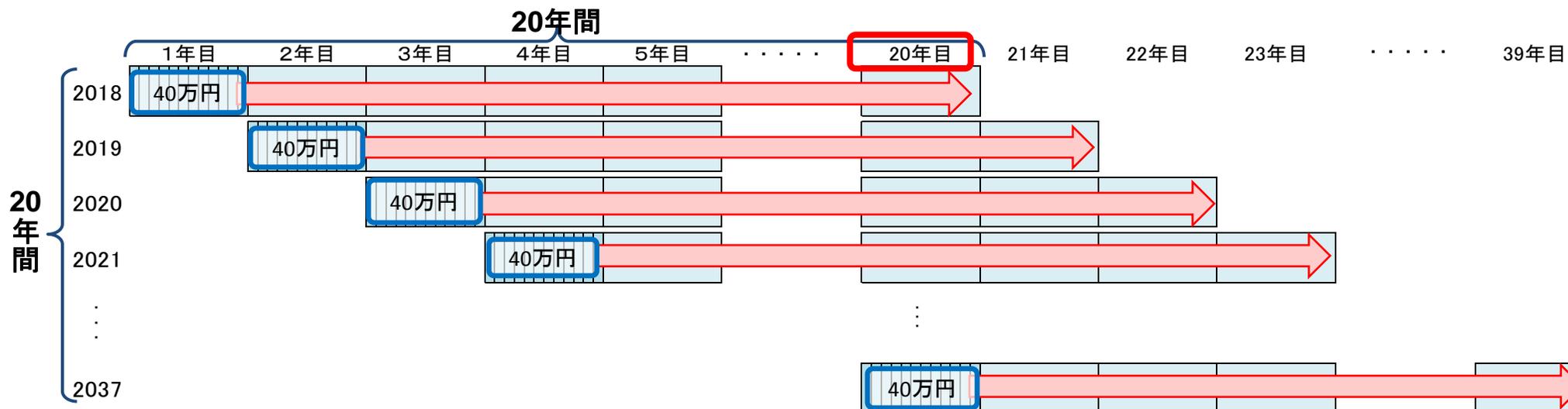


20年間



# つみたてNISAの概要

- 1年当たり40万円を上限として、20年の間、投資信託の保有に係る税が非課税となる制度。
- 公募株式投資信託の対象商品は、低コストで長期の資産形成に適した商品に限定（2018年12月末時点 **159本**）
  - インデックス投資信託（市場平均に連動した成果を目指すもの）が基本（142本）
  - アクティブ運用の投資信託（市場平均を上回る成果を目指すもの）は、例外的に、継続して投資家に支持・選択され、規模が着実に拡大しているもののみ（17本）
  - 販売手数料は0%
    - ※ 一般的な投資信託は、販売手数料1.5～3%程度
  - 年間の運用手数料である信託報酬率は、インデックス型で平均0.32%、アクティブ型で平均1.06%
    - ※ 一般的な投資信託は、信託報酬率は1～2%程度



# 資産形成・投資にあたってのポイント

	ポイント	つみたてNISA
長期投資	投資を始めたら、長期間続けること！	長期保有を前提とした制度 <b>非課税期間は20年間</b>
積立投資	投資のタイミングをとらえるのは難しい！定期的に自動で買付！	買付けの方法は、 <b>積立投資に限定</b>
分散投資	分散投資でリスクを軽減！ 資産の分散と地域の分散！	対象は、国内外の株式・債券等に <b>分散して投資する投資信託</b>
手数料	信託報酬は、長期の運用成果に大きな影響！	信託報酬が低く、販売手数料もノーロード（0円）の <b>低コスト商品に限定</b>
分配金	毎月、分配金を受け取ることは、長期の運用には向かない！	<b>毎月分配型でない商品が対象</b>
税金	原則、運用益は課税（20.315%）	運用益は <b>非課税</b>



「つみたてNISA」なら、すべてのポイントをおさえてるよ！

○ つみたてNISAでは、買い付ける商品を変更することは出来ないのか。

- 買い付ける商品は、いつでも変更することが出来ます。
- なお、過去につみたてNISAで買い付けた商品を、別の商品に入れ替えること（スイッチング）は出来ません。

○ つみたてNISAを始める際、既に一般NISAで保有している商品は、売却する必要があるのか。

- 既に一般NISAで保有している商品を売却する必要はありません。
- 購入時から5年間はそのまま非課税で保有可能で、売却も自由です。

○ つみたてNISAでは、20年以内に売却しなければ、非課税の恩典を受けられないのか。

- 20年以内に売却しなくても、非課税の恩典は受けられます。
- 20年の非課税期間が終了する際、その時の時価で課税口座（特定口座又は一般口座）に払い出されることとなり、つみたてNISAで保有していた間の値上がり分には課税されません。

# iDeCoとつみたてNISAの比較

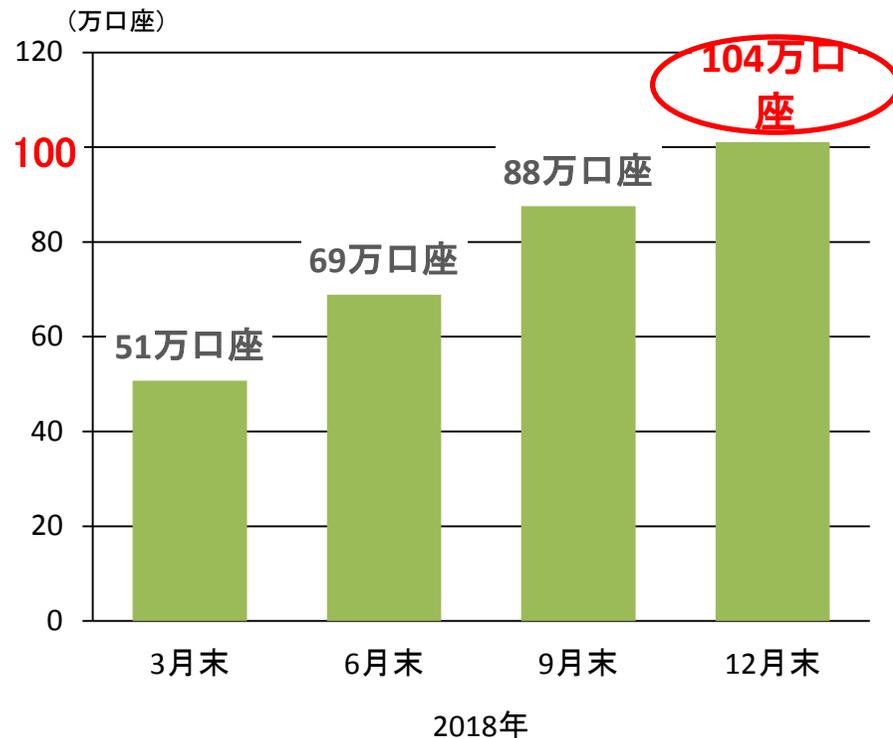
	iDeCo (2017年1月～)				つみたてNISA (2018年1月～)
対象者	自営業者	専業主婦	会社員	公務員	20歳以上の居住者
年間拠出額	81.6万円	27.6万円	14.4万円 (※1)	14.4万円	40万円
非課税期間	制限なし				20年間
投資可能商品	投資信託・保険商品 公社債・預貯金など				長期の積立・分散投資に 適した一定投資信託
払出し制限	60歳まで (例外あり※2)				なし
税制上の メリット	掛金が全額所得控除 運用益が非課税 受給時の公的年金控除 (退職所得控除)				運用益が非課税

※1 企業年金等に加入していない場合、年間拠出額は27.6万円。企業年金等のうち企業型DCのみに加入している場合、年間拠出額は24万円。

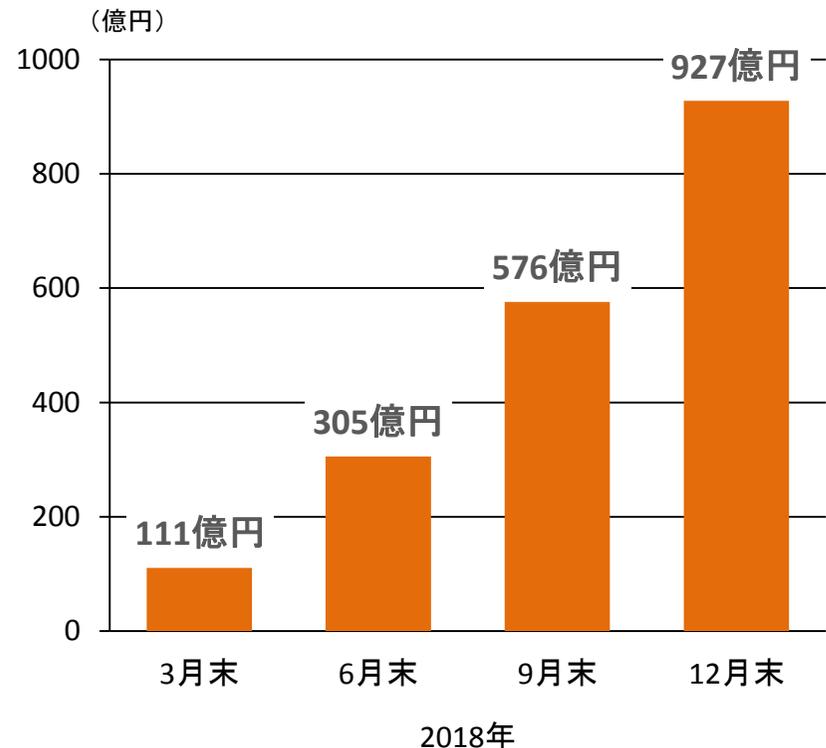
※2 一定の要件を満たした場合、脱退一時金の受取りが可能。

# つみたてNISAの口座数・買付額

## 【つみたてNISA口座数】



## 【つみたてNISA買付額】



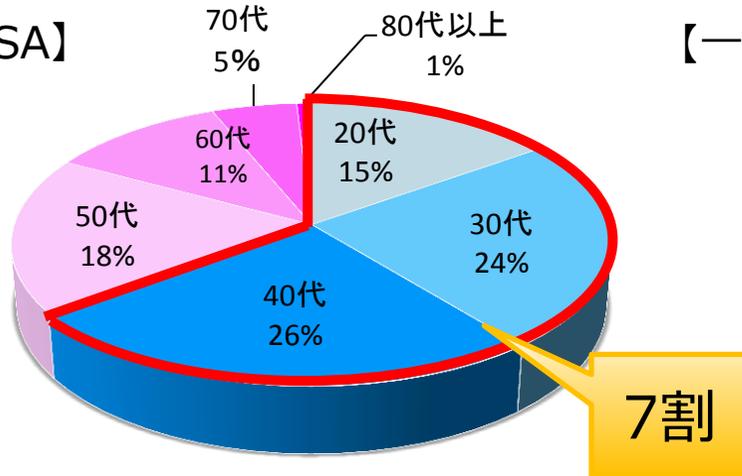
### 【NISA（一般・つみたて）】

- つみたてNISAの口座数は、**103万7,169口座**（2018年9月末時点から、約16万口座、18.4%増）  
（一般NISA・つみたてNISAの総口座数は、1,246万6,912口座）
- つみたてNISAの買付額は、**927億4,654万円**（2018年9月末時点から、約352億円、61.0%増）  
（一般NISA・つみたてNISAの総買付額は、15兆7,218億3,403万円）

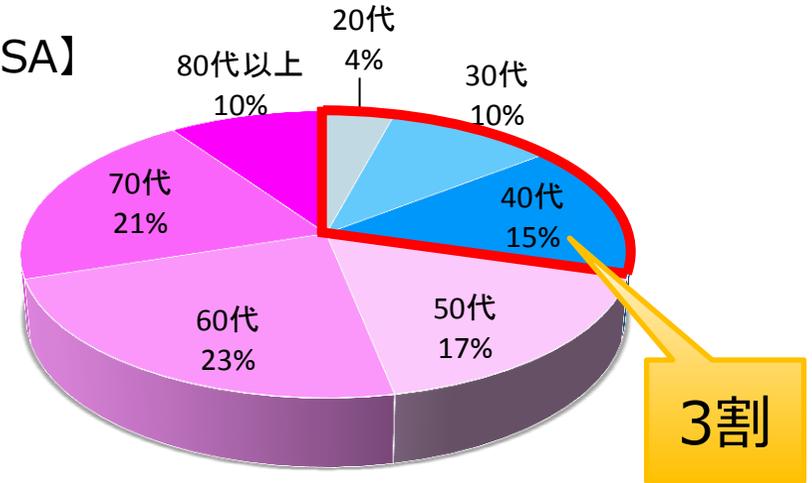
# NISAの現状

## 世代別比較

【つみたてNISA】

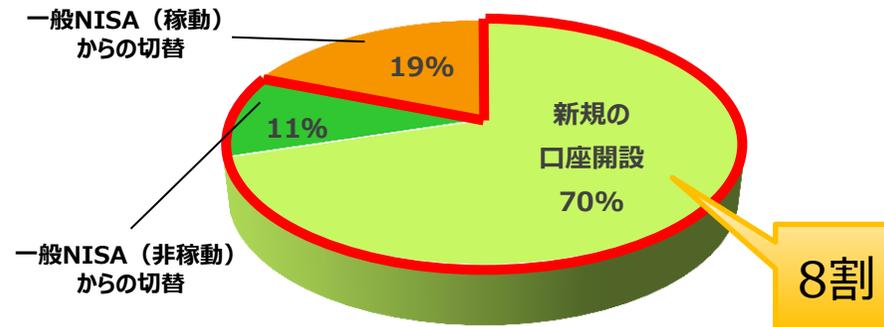


【一般NISA】



(資料)金融庁「NISA口座の利用状況調査(2018年9月末時点)」

## 新規開設/切り替え



(資料)金融庁、主な金融機関8社へのヒアリングベース(2018年9月末時点)

# おわりに

1. お金の問題は、自分で考えないといけない  
→ 日々の生活費、子供の教育費、  
住宅費用、老後費用、その他いろいろ
2. お金の機能・役割を理解する  
→ 1億円あったらどうする？  
「使う」「貯める」「ゆずる」「増やす」
3. お金に振り回されず、しっかりと対応する  
→ 早めに仕組みを作り、後は人生を楽しむ

ご清聴ありがとうございました



つみたてワニーサ公式  
twitterでは、つみたて  
NISAや資産形成に関する  
情報を発信中！

つみたてワニーサ公式twitter

@Wa\_nisa\_FSA

ワニーサ



で検索！